

+らiふ ニュース

令和3年度 春号



(編集・発行)令和3年5月
相談支援事業所 宮城野雲母倶楽部+らiふ
〒983-0012 仙台市宮城野区出花1丁目3-11
TEL/FAX: 022-254-6757
HP: <http://kilala.biz/>
編集責任者 秋保 明

新年度のご挨拶

皆様には、日頃より当所の運営にご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在に至っても新型コロナウイルス感染拡大が収束せず、昨年に引き続き様々なイベント・行事・会議等が中止や延期となっておりますが、先の見通せぬ状況において、様々な不安を抱えたり生活リズムが狂うことにより、体調を崩される方が多くおられるのではないかと危惧されます。

仙台市におきましては、昨年度に「基幹相談支援センター」が仙台市障害者総合支援センター(ウェルポート仙台)内に設置されましたが、今年度から、センター主催で支援困難な事例等に関わる合同ケースレビュー・事例検討会を開催するなど、その活動が本格化する予定であり、市内の相談支援体制の強化が期待されます。

感染症のパンデミックで、社会や人間関係が分断されることが懸念されてきましたが、実際、感染者や医療従事者等に対する不当な差別・偏見が社会問題となっています。こうした時代にこそ、互いに認め合い、助け合うために、仙台市が培ってきた「行政と民間との協働、そして地域づくりへ」という理念を活かしていきたいと思っております。今年度もご指導ご鞭撻方よろしくお願い申し上げます。

令和3年5月

宮城野雲母倶楽部+らiふ 施設長 秋保 明

令和2年度仙台市障害者自立支援協議会の取組み



令和3年3月16日に令和2年度第1回仙台市障害者自立支援協議会が開催されました。各区の取組みを参考にしながら仙台市全体の活動の成果を共有しました。今回はその中でも地域課題解決に関する取組みについてお知らせします。

地域で暮らす障害のある方が安心して生活し続けられるように各区において支援体制を整備しています。地域の相談窓口になっている民生委員や地域包括支援センターのような高齢分野などとの分野を超えた連携により地域のタイムリーな状況を把握できるようになり、また、支援同士の横につながりを強化することで声を上げられない方などに必要な支援が届きやすくなるような仕組みをつくっています。どのような時であっても地域での生活が継続できるよう地域生活支援拠点を運営し、緊急時の受け入れや緊急時に備えた予防的な支援の検討を行っています。さらには前年度から基幹相談支援センターが設置され、支援者への支援を中心に仙台市全体の支援体制強化が図られるよう取り組んでいます。

障害のある方の生活支援のために様々な支援機関と協力して引き続きサポートを行っていきます。

投稿コーナー

このコーナーでは利用者の皆様のお声を載せていきます！

ペンネーム・そらさんの体験談から見えないつらさや不便さ、だれにでも起こり得ることであること、どのように乗り越え今の自分があるのかを伝えていきます。

【 耐えて生きてきたけど疲れた 】 そらさん No.13

先日急に腰を痛めて数日身動きできませんでした。一人で色々不安が募るばかりでした。例え世の中に色々システムがあったとしても、家族等の人のケアの温かさの方がほしい気がしました。私と同じように広場恐怖で、あまり出歩けなくて人と繋りがない知人は、孤独感に耐えられず夜中あちこちの警察署に話し相手を求めて電話したそうです。近所で買い物ひとつも難しい病ですが付き添いとかの協力も簡単に受けられません。コロナ期は話題が家族主体になってきたからこそ、一人あぶれたような人達にも目が向けられればと切に願っています。病が知られていないのも原因なのでしょうか。